



一本道

西小学校通信No.13

令和7年9月1日

校長 吉田憲一

学校教育目標 「元気と挑戦で 成長を ～1日1ミリ～」

1 2学期の始業式、「実りの学期」スタート！

8月29日、41日間の夏休みを経て、成長した子供たちが体育館に一堂に集まり、2学期の始業式を行いました。児童代表の2名が「2学期がんばること」というテーマで発表しました。その一部を紹介します。

4年：新里まおくん「4月に西小に転入してきて、始めは不安だったけど、友達が優しくしてくれたり、遊んだりしてくれたので、よかったです。2学期は、他の学年の人とも友達になっていきたいです。」

5年：日根野まこさん「私は1学期に応援団をがんばりました。～略～ 応援団になってみんなを引っ張ることの難しさが分かったから、2学期は、応援団になって分かったことを生かして生活していきたいです。」

2人とも、1学期を振り返って「新たなV（ビジョン＝目標）」を立てています。2学期は「実りの学期」です。266人それぞれが、何を实らせ、どのように成長するか楽しみです。

最後に、全員で元気よく校歌を歌いました。



2 始業式では「水の話」をしました。

8月29日、始業式の校長講話では、「水の話」をしました。「なんで勉強をしなくちゃいけないの？」「なんでこんなこと、覚えなきゃいけないの？」「将来使わないし」と思ったことがある子供たちは、やっぱりたくさんいました。私自身も何回も思ったものです。まず、コップの水を出して、「もしあなたが何も勉強しなければ、この中にあ

るのは『ただの水』で終わります。でも、勉強すれば、このコップの中から世界が見えてくるようになります。」と話しました。そして、「理科を勉強すると、どんなことが分かりますか？」と質問しました。「水質が分かります。」とか「酸素が入っています」などと答えてくれました。素晴らしいです。

「理科を勉強すると、水の正体が分かるのです。」というように、10の教科で、説明をしたり、質問をしたりしていきました。そして最後に「勉強をすると、『ただの水』を、いろいろな見方で見ることができ、見ている世界が変わります。つまり、人生が豊かになるのです。」と話して終わりました。勉強する意味を考えることは、とっても大事なことです。

3 授業紹介①「5の1国語」主体的に意見交流する場面

9月1日、5年1組の教室に入った瞬間「面白そうだな」と思い、10分ほど参観しました。田上先生と子供たちが、国語で「かぼちゃのつるが」という詩の授業をしていました。下の写真は、「くり返しの表現は必要ですか？」という発問に対して、自分の考えを伝えている様子です。「必要」か「必要ではない」の理由を伝え合いました。机が、教室の中心を向いた配置になっており、意見の交流がしやすそうでした。「二者択一の発問」と「中心を向いた机の配置」により、子供たちが主体的に意見交流をしていました。

